

nanika

62 iryo da-ryo

大阪民医連の病院に実習に来ませんか?

おいでませ、新入生!! ~入学前実習~

1日医師体験記事

医学生のつどいとは?

医学生ミーティング&春合宿

とある奨学生の一年間

民医連とは?

医療
なにわの
道場



Dr. 落合 甲太

「地域で働く

~OD: overdose患者の診療を通して~」

奨学金制度のご案内

大阪民主医療機関連合会(略称:大阪民医連)では、将来地域に根ざした民医連の医療を担う意志を持った学生が、学生時代により幅広い視野を育て、人間性豊かな医師として成長できるように、経済的にも援助を行うための、奨学金制度を設けています。
——詳細はお問い合わせください。

奨学金貸与額(医学生)

1年・2年	50,000円
3年・4年	60,000円
5年・6年	70,000円

奨学生の取り組み

医療現場を体験しよう!!

臨床の現場を体験していただくために、低学年から高学年まで幅広く病院実習を受け入れています。実際の医療現場での体験を通して、医師や他職種、患者さまと関わり合う中で、「将来どんな医師になるのか?」「どんな医療をしていくのか?」など、一緒に考えてみませんか?

医療情報・医療制度について学ぼう!!

毎月行われる医学生ミーティングや学習企画に参加して、その時々医療問題や興味関心事と一緒に学びます。患者さんの置かれている状況やそれに関わる医療制度などなど、「なぜだろう?」「どうすればいいだろう?」という思いを出し合い楽しく学習します!!

全国の学生・先輩スタッフと学ぼう!!

全国から数百名の仲間が集まる企画「医学生のつどい」を運営、又は参加したりする中、「どんな医師をめざす?」「患者さんの気持ちは?」など様々なことについて各地の奨学生の仲間や先輩スタッフと話し合います。またいろんなアドバイスを受けたり、他大学の学生との交流でいろんな思いを深めることが出来ます!

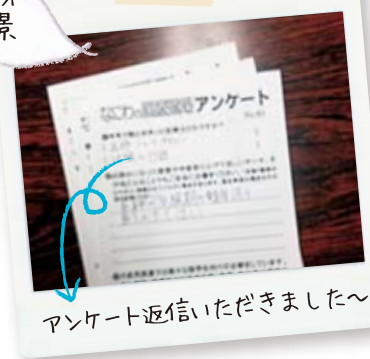
大阪民主医療機関連合会

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町2丁目1-8 創建本町ビル2階
TEL: 06-6268-3970 FAX: 06-6268-3977
URL: <http://www.oskmin-igakusei.com> E-mail: staff@oskmin.com

編集後記 おだじーのつぶやき

●こんにちは☆なにわの医療道場・編集長の小田嶋です。フルカラーになって2号目になりました。今回のなにわの見所は、「医学生の生活」が載っていたり「実習」の詳しい内容が知れたり新しく医学部に通い始める学生さんたちの興味関心に合った内容になっているところです☆今後ともパワーアップしたなにわの医療道場をよろしくお願いします!! ●お便りをお寄せください!特集など記事を読んだ感想、本誌に対して感じていること、日頃思うこと、なんでも気軽にお願いします。お便りは、同封のアンケートはがきにご記入のうえ郵送してください。掲載分には図書カードを進呈いたします。(ペンネームや匿名希望の方はその旨を明記してくださいね!) おだじー

取材風景



発行:大阪医療事業協同組合 教育情報事業部

〒541-0054 大阪府大阪市中央区南本町2丁目1-8 創建本町ビル2階
TEL:06-6262-1302 FAX:06-6262-1303

地域で働く

OD: overdose患者の診療を通して

落合 甲太 医師

※本原稿は2012年11月23日 大阪民医連主催 医学生ミーティングの中で行われた講演録から抜粋・編集し、掲載しました。

はじめに

今日のお話はOD（注1）患者さんの受け入れについて行った臨床研究がどんな内容なのか。この臨床研究を通じて考えたことをお伝えしようと思います。

西淀病院の紹介

まず、私が働いている西淀病院をご紹介します。西淀病院は大阪市西淀川区にある都市型中規模病院です。全218床、急性期病棟110床を持つ二次救命救急告知病院（注2）

です。「断らない救急」を目指し、西淀川区を中心とする大阪市地域での救急医療を担い、24時間体制で救急搬送とwalk-in患者を受け入れています。年間救急搬送総数は約1500台です。救急専門医も精神科医も常勤しておりません。西淀病院の半径5km以内には、18か所の二次救命救急病院と、2つの三次救命救急病院があります。

OD 臨床研究

私がOD患者さんについて考え始めたのは、10件以上断られて西淀病院に搬送されてきたOD患者さんが急速に増えたことがきっかけでした。救急隊に病院が受け入れを断った理由を聞くと、「精神科医がいないこと」「入院できるベッドがないこと」「ICUベッドがないこと」「血液浄化ができないこと」「付き添い者がいないこと」ということなどが挙がりました。

本当にそうなのかと思い始めてODについて調べたのが、研究を始めたきっかけでした。

Profile

神戸市出身 関西医科大学を2003年卒業。耳原総合病院、西淀病院などで研修。その後、2008年には神戸大学附属病院総合診療部で研修を重ねる。現在、西淀病院で救急外来医長、臨床研修指導医を担う。日本内科学会認定医。家族は妻、息子二人、娘一人

まず、救急搬送数のデータを調べると大阪市のOD患者搬送数は減少していることがわかりました。その中で、私が医長になった2010年から西淀病院ではOD患者を断らずに受けはじめ300件を超える数となりました。

この研究の目的は当院に搬送されるOD患者の現状を把握すること、そしてOD患者診療における問題点が何であるかを検討し、それを分析するなかで二次救急病院がOD患者を受け入れるための条件を探ることとしました。

まず、最初に救急隊員、救急担当医師、看護師へのアンケートとインタビューを行いました。

そうすると救急搬送総数は164人、内OD患者数は41人。その中で、転送が必要だった症例はなく、入院率は41人中6人で19.5%、重症患者さんは2人。血液浄化が必要だった症例はなく、付き添いがない搬送が14.6%ありました。実際は、入院管理、重症管理患者さんは少ないことがわかり、西淀病院では、ほとんどが入院せず自宅に帰っていることがわかりました。

また、OD患者さんをあまり診たくないと感じている医師・看護師が多いことがわかりました。救急隊でも同じ傾向がありました。また、救急隊員のアンケートから、OD患者を受け入れる病院が減っていることがわ

かりました。搬送時間は1時間以上かかることもあり、搬送中に病状が悪化する危険性を感じているそうです。アンケートによって、OD患者さんの搬送受け入れ先を探すことに苦労している救急隊の姿が見えてきました。

まとめると、OD患者さんの搬送数は増えているが、搬送受け入れ先が減っていることがわかりました。また、搬送を断られる理由に「血液浄化ができない」「ICUベッドが満床である」が挙がっていたが、ほとんどの患者さんが血液浄化やICU管理をしなくてもよいことがわかった。逆に、搬送が遅れると重症化するという問題も浮かびあがりました。

しかし、少ないとはいえ重症化すれば、西淀病院は精神科や緊急の血液浄化やICU管理はできません。そこで、いざ重症化したときに受け入れてくれる三次救急病院や精神科病院との連携がかかせません。

そこで、近くの精神科病院の院長とも懇談し、一緒に症例検討を行うようにしました。また、西淀病院のような二次救急病院でのOD患者さんの受け入れガイドラインを作成しました。

OD 患者さん対して

OD患者さんは病気で薬を飲んでいきます。医師や看護師の中から「自分で薬を飲んで運ばれてきてなんやね

注1 OD（オーバードーズ）

オーバードーズ（drug overdose）とは、化学物質（多くの場合、薬品やいわゆるドラッグ）を、多量にまたは集中的に摂取すること、それによって起こる状態、症状、または概念。精神疾患患者に対する精神安定剤や睡眠薬などの大量処方も問題となっている。doseとは薬物の1回あたりの適正服用量のことであり、過剰・超過を意味するoverを付加した複合語のOver Doseとなり、そのそれぞれの頭文字をとって、ODと略される。

注2 一次救急…軽症の患者さんを受け入れる、基本的に入院を必要としない患者さんが対象。

二次救急…入院や手術が必要だが、緊急度が低い患者さんが対象。

三次救急…緊急入院、緊急手術が必要な重篤な患者さんが対象。

注3 陰性感情

怒り・恐れ・焦り・後悔・不安・自信喪失・孤独感・嫌悪感などの負の感情。

ん」と言う声も正直聞こえてきます。しかし心筋梗塞で運ばれた人に「なんで自分で血管つめたねん」と言う人はいませんよね。それがたとえ「おまえタバコ沢山吸ってなんやねん」と言う人でも心筋梗塞なら助けないわけじゃないですよね。私は精神疾患を持っていてODをしてしまった病気の人が救急疾患の延長で運ばれていたというふうに考えてしっかりと診ています。

とはいえ、私もかなり陰性感情（注3）を持ってしまいます。当直して夜中3時半に「もうすぐ交代だ。寝よう」と思っていたところに「薬を飲みました」と言われて運ばれてきたら「このやろう」って正直心の中で思います。でも「殺したい」と思うことと「殺す」ことが違うように、「うっとうしいなあ」と思うのとその態度を見せるのは違いと思います。

Take home message

最後に皆さんに持って帰っていたきたいメッセージがあります。

一つ目はOD患者さんへの陰性感情をコントロールすることが大事ということです。医師や看護師の中でもOD患者さんへ陰性感情を少なからず持っている人もいます。私自身も持っていました。しかし、その感情が実際の診察や診療の中で態度や言動から患者さんに伝わり、患者さんとのコミュニケーションがうま

くとれないことを経験しました。陰性感情をうまくコントロールすれば大概の患者さんともうまくコミュニケーションがとれ、診療がうまく運びます。

二つ目は、病院内でのチーム連携の質を上げることが大事だということです。実際に受け入れることはなかなか困難なことです。しかし、看護師さんなどのメディカル理解が進んだことでベットが空いていれば困難患者さんを受け入れるようになりました。その過程で、困難患者さんを断らないという気風が病院にできました。これは民医連が大事にしていることです。

三つ目に、西淀病院だけではOD患者さんの診療は完結できません。地域の他の病院や精神科の病院との連携ができてこそOD診療が成り立ちます。そういったことちゃんと見ないとこの問題は解決できないし、取り組めないと思います。

最後にお伝えしたいことは、OD患者さんは間違いなく病気を患っている人です。陰性感情をしっかりコントロールすることが大事です。診療の質改善、チーム医療に取り組むこと。また地域連携に取り組むことが、みなさんが医師になって大事して欲しいことです。

今日は地域中小病院で内科医として普段実践し、臨床研究した中身を話させていただきました。

大阪民医連の病院に 実習に来ませんか？

大阪民医連には4つの病院を中心に49カ所の診療所や
訪問看護ステーションなど、合わせて132カ所の医療施設が加入しています。
医学生のみなさんに大学の授業だけでは感じ取ることのできない
『医療現場の実状・リアル』を知っていただくために実習の場を設けています。
また民医連の目指す医療や研修を知っていただく良い機会にもなります。
実際に大阪民医連の病院実習に参加した医学生の実習について、
紹介したいと思います。



実習スケジュール

愛媛大学2年生 難波 広人さん

病院実習@東大阪生協病院

08:30 病院到着

実習スタート!!

08:40 医局朝礼

病院の全科の医師が集まって朝礼を行います。
自己紹介と実習参加の期待など簡単なあいさつをします。

09:00 往診へ同行
(八尾クリニック)

往診担当医と往診へ出発 民医連の病院は“患者・利用者さんの生活に根ざした医療機関”
という役割を担っています。往診実習などを中心とした在宅医療など生活の場に密着した
医療活動を展開しています。入院中とはまったく違う患者さんの家での顔を知る機会
にしてもらい、地域や家族と医療機関の連携が必要であることを実感できる内容になっ
ています。

10:30 こども診療所で
小児科外来診察

小児科では「風邪ひき」等の急性疾患のほかアレルギー、喘息などの診察治療や、赤ちゃ
んが健康に育っていけるようにおかあさん・おとうさんをサポートする乳児健診、予防で
きる病気はかからずにすむようする予防接種などを行なっています。また子育てに関す
る相談も受けています。

11:30 外来担当医師と
病院外来診察

第一線の病院・診療所には、さまざまな疾患・生活背景をもった患者さんがいます。そし
て、患者さんとともに歩む情熱あふれる医師と医療スタッフが働いています。最前線の医
療現場でリアルな体験をすることができます。

12:30 感想文記入

今日の実習を振り返った感想を記入してもらいます。実習中に質問できなかったことな
ど、わからないことがあれば質問してくださいね！

※実習内容は一例です。 ※各病院の診療状況、医師体制によってリクエストにお応えできる事もあります。

感想

難波 広人さん

僕自身、医学部に入ってみても医師になるという実感が湧きませんでした。実習に行っ
てみて実際に働いている医師の姿を見て実感が湧いたと共に勉強のモチベーションも上がりま
した。1年の頃は一般教養、2年は座学ばかりで医療に触れる機会はほとんどありません。
そんな中で実際の医療に触れることが大事だと思います。勉強は大変だけど、医学はとて
も興味深く面白いです。それに触れるためにも是非実習に来てください。

大井Drの
外来を見学！



感想

森田 裕子さん

診療所も病院も働いている方々の表
情がやわらかいと思いました。働きや
すい良い病院&診療所なのかも知れないと思いました。
3日間を通して自分自身の勉強不足を実感しました。
これからCBT※1に向けてもっと勉強していこうと思
いました。3日間ありがとうございました！

※1 CBT…Computer Based Testの略で、その名の通りコンピ
ューターを使ったテストの事。医学部4年生の終盤におこなわれ、進級最後
の難関と語る医学生もいる。問題は基礎から臨床の幅広い分野に渡る。



実習スケジュール

富山大学4年生 森田 裕子さん

病院実習@耳原総合病院

(1日目)

08:20 病院到着

病院へ到着しましたら、総合案内にて担当者をお呼びください。
実習スタート!!

08:40 医局朝礼

当院の全科の医師が集まって朝礼を行います。簡単な自己紹介をします。

09:00 病院案内

耳原総合病院の施設を見て回ります。

09:30 産科外来見学

当院産婦人科はスタッフ医2名非常勤医1名と、後期研修医2名の体制です。
初期研修では、1.5ヶ月ローテーションします。後期研修医の産科外来を見学します。

12:00 昼食・休憩

医局で色々な科のスタッフ医師、研修医と交流ができます。

13:00 泌尿器オペ見学

手術室でオペの見学をします。

16:00 感想文記入

今日一日を振り返った感想を聞かせてください。実習中に質問できなかったことなど、
わからないことがあれば質問してください。

18:00 終了

1日目お疲れ様でした。

(2日目)

08:40 医局朝礼

当院の全科の医師が集まって朝礼を行います。

09:00 産婦人科オペ見学

美容面の配慮と患者さんの体の負担を考え、可能な限り腹腔鏡下手術を行い、術創を小さ
くするようにします。また、腹腔鏡下手術ができない場合も、可能な限り術創を小さくす
る努力をしています。

12:00 昼食・休憩

さらにスタッフ、研修医と交流ができます。

13:00 産婦人科オペ見学

引き続きオペの見学をします。
腫瘍を切除する手術を見学します。
内視鏡を使うので術野も見学できます。

14:00 泌尿器科見学

超音波破碎の手技を見学します。

16:00 感想文記入

実習中に質問できなかったことなど、
わからないことがあれば質問してください。

18:00 終了

2日お疲れ様でした。

実習の内容によっては、
数日かけて実習を行う場合があります。
1日での実習よりも多くの設備を
見ることができます。



(3日目)

08:40 医局朝礼

昨日はお疲れさまでした。

09:00 婦人科外来見学

当院の全科の医師が集まって朝礼を行います。

2日目同様、腹腔鏡下手術を見学します。患者さんの年齢層は幅広く、各々に対応が必要
です。

12:00 昼食・休憩

3日目になると、スタッフ・研修医ともかなり仲良くなっているかも・・・

13:00 ER

ERの医師体制は、2名のER専任医と、総合診療科を中心とした内科医、研修医で構成され
ています。ER専任医師2名により、研修医による救急医療のリスクを回避した、責任を
もった指導医体制です。耳原では年間約4000件の救急車を受け入れています。

14:30 泌尿器科見学
前立腺検査

前立腺や膀胱に異常がないかエコーの検査で調べます。

15:00 感想文記入

実習中に質問できなかったことなど、わからないことがあれば質問してください。

15:30 終了

3日間お疲れ様でした!!

おいでませ、 新入生!!

入学前実習

医学生・入学前実習に来てみませんか？

念願の医学部に合格された新入生のみなさん、合格おめでとうございます。
医師という夢へのステップを1つ上がり、『医学生』としての新しい生活に期待と不安でいっぱいではないでしょうか？

医学部に入学すると1年間は「一般教養」と呼ばれる一般的な知識教育が大半を占め、医療に関わる内容の授業はほとんどないと言ってもいいくらいです。そんな中で、勉強に対する気持ちがしぼんでしまったり何のために医学部に入ったのかと迷うこともあるかも知れません。

入学前に医療現場、とりわけ働く医師の姿を見ることによって新しい生活に向かう勇気やモチベーションアップにつながると思います。

西淀病院で実際に行われた入学前実習のメニューをご紹介します。
大阪民医連では4つの病院で入学前実習を受け入れています。(病院の詳細はP.14.15参照)

※実習メニューは一例です。

08:30	医 局	8:45から医局の朝礼に参加。簡単な自己紹介をします。
09:00	医 局	西淀病院についてレクチャーがあります。
09:30	病 棟	病棟回診に参加します。
10:30	医 局	病棟回診後、休憩です。医局にてコーヒブレイクです。休憩時に医局にいる医師とお話します。
11:00	ER(救急外来)	救急車で搬送されてくる急病の患者さんの処置に立会います。
13:00	医 局	昼食です。医局の医師たちと色々な話をします。
14:00	ファミリー クリニックなごみ	往診担当の医師に付き添って往診に出発します。 患者さんの自宅やグループホームを回ります。
17:00	医 局	帰院します。本日1日を振り返り、感想を記入します。



1年生の頃、
入学前実習に参加した
小松俊介くん

ちょこっと

Q & A

Q 実習って、何をするの？単なる見学じゃないの？

A 単に決まった内容を見て回るだけとは違い、医学生の希望を聞いてカリキュラムを組み立てます。患者さんの状態や医師体制によって希望に沿える場合と難しい場合がありますが、一例として医師の指導のもとで手術を見学したり、救急外来へ数時間単位で入ったり、病棟で処置に付き添ったりもできます。

Q 往診に行ってみたい！

A 往診も人気のメニューの1つです。往診は医師と看護師が患者さんの自宅に伺い、その場で診察をしてお薬を出したり点滴などの簡単な処置もします。病院で患者さんを診察させてもらうのとは違い、患者さんが日頃どのような環境で生活しているのかがダイレクトに分かるのが往診の特徴です。

Q 外来は見れないのでしょうか？

A 外来診療も見学可能です。外来ではどんな病状の患者さんが受診に来るのか分かりません。医師が患者さんの診察の結果、病状に合わせた処置や検査の依頼をしたりお薬の処方を行います。また、患者さんが何を訴えているのか、その訴えに対して医師がどのように応えているのか見学のポイントになります。



体験記事 1日医師



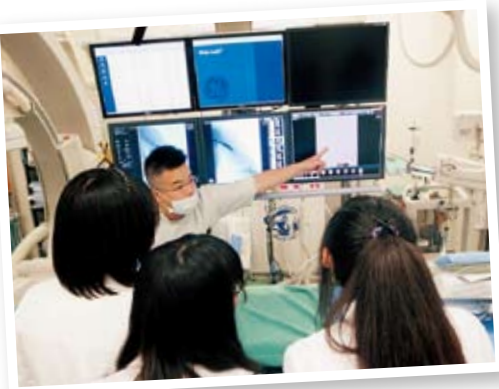
高校生・予備校生の皆さん、 医療の現場を体験してみませんか！

大阪民医連では高校生や予備校生などの医学部を目指す受験生の方々に対しても様々なサポートをしています。

中でも春・夏・冬の大型のお休みに合わせて開催している「1日医師体験」はお医者さんに付いて往診や病棟回診に行ってお話をしたり、検査科ではどんな検査をしているのか見学したり、普段はなかなか見る事の出来ない病院内部を見学できます。



実際の医療機関でお医者さんが どのように働いているのか...



単に症状だけでなく患者さん1人1人の状況を読み解いて、丁寧に真摯に「人」と向き合う姿は受験生たちの「こんなお医者さんになりたい！」という気持ちを後押しします。

なにわの医療道場をお読みの受験生のみなさん!!「1日医師体験」に参加してみませんか？お医者さんという夢に向かって明確なイメージを掴みましょう！

〈感想〉初芝富田林高校1年

1日医師体験を通して、患者さんを幸せにできる医師になりたいと思いました。

〈感想〉大阪学芸中等教育学校1年

延命治療を受けている患者さんの個室を見学させていただきました。落合先生の話聞いてホントに医師になりたいと思いました。

民医連の医療と研修を考える 医学生をつどいとは？

『民医連の医療と研修を考える医学生をつどい』（以下医学生をつどいと呼称）とは、全国の医学生が集まって、民医連が取り組んでいる医療や社会のことを学び、自分の将来の医師像について仲間と交流して深める企画です。

本番は毎年8月に2泊3日で開催され、2012年で33回を迎えました。医学生の他に、医師やコメディカル（※1）、共同組織（※2）が参加し、様々な視点からテーマについて考えます。例年、医学生を含め、400名を超える規模で開催される、一大イベントです。

※1 医師以外の医療スタッフの事。検査技師や放射線技師など。
※2 民医連と連携して地域で健康づくりの活動を進めている地域住民の方々。



第33回 民医連の医療と研修を考える医学生をつどい



2012年に行われた、第33回医学生をつどいでは、『原発問題から医療と生活を考える～医学生が本気出して考えたらどうなる！？～』をテーマに、講演やシンポジウム、分科会を通じて、医師や福島県の農家、被災者の方々など様々な立場の人の生活が脅かされている状況を学びました。

実際に参加者した医学生からは、「今までいかに自分が無関心であったかを知った」「社会を変えることは容易ではなく、自分が何かをしても変わらないのではと思う人も多いかもしれないが、“できない”と思わず、“何ができるか”を考えたいと思った」との感想が出されました。

年間を通して、原発問題について『医療』と生活背景を切り口に、自らの置かれている社会の現状について学び、今苦しんでいる人、医療者として将来守るべき人々の生活に向き合うことが出来ました。

つどい実行委員会 「自分たちで作っていく」ことが 医学生をつどいの魅力！

医学生をつどいはおおまかに、つどい実行委員会や各地域での医学生の学びや活動、そして本番から成り立っており、本番の3日間だけではなく年間を通しての取り組みです。

夏の本番までに実行委員会が5回行われます。この実行委員会ではつどい本番のテーマや目標、内容について医学生や医師、担当者で学習し、議論することで本番を作っていきます。ただ準備作業をするだけではなく、様々な経験や交流を通して自分の考えを深め、そしてその中でたくさんの仲間を作ることができる場でもあります。

全国の医学生・現場の医師やスタッフと学び交流する中で、「将来自分はどんな医師になるのか」について考えませんか？医学生なら誰でも参加できます。詳しくは大阪民医連医学生担当までお問い合わせください。

なお、本番は8月に開催されますが、実行委員会はそれまでに開催されます。実行委員以外の医学生もたくさん参加しますので、お気軽にご参加ください。

今後の予定

●第2回実行委員会
3月頃

●第3回実行委員会
5月頃

詳しくは大阪民医連医学生担当まで
お気軽にお問い合わせください。



医学生ミーティング

大阪民医連医学生ミーティングでは大学での医療の勉強だけでなく、医療情勢や社会保障、患者さんの背景を知ることなど様々な視点での医療と医療を取り巻く社会について学んでいます。そしてその学びを通して自分の医師像と照らし合わせながら、どんな医師になるのかなどをみんなで考えディスカッションをしたりしています。

医学生ミーティングは毎月1回のペースで開催しており、開催にあたっては学生が主体となり学習の場を形成し、そこに医師をはじめとした現場ではたらくスタッフ、そして外部講師も招いて行なっています。「患者さんに学ぶ」「地域に学ぶ」という姿勢、それを「仲間とともに学ぶ」ことができる場です。



2012年
4月29日

医学生ミーティング新歓※企画の様子

※新入生歓迎の意味



普段大阪府外にいる学生たちとも交流を深める同時に、新しい仲間を迎えようとの思いから春の交流企画として4月に開催した医学生ミーティング。発表あり、講義あり、フィールドワークあり、バーベキューありの盛りだくさんの内容でした。

大阪の放射線量を測ってみよう

放射線線量測定フィールドワークにあたって、岩本智之先生（京大原子炉実験所元教員、日本科学者会議常任理事）に『放射能と放射線を考える』と題して、放射線についての基礎知識や具体的な測定方法についてのレクチャーが行われ、2班に分かれてロッジ舞洲内の芝生やコンクリートなど、様々な場所の線量を測定しました。測定後は線量マップを作成しました。

どこでどんな医師になるのか ～被災地を訪れて感じたこと～

学生発表では、3月に行われた大阪民医連医学生春合宿に参加した医学生から被災地の様子や仮設住宅の訪問ボランティアの内容などが報告されました。被災地を訪れて地域の生の声を聴き、体験したことから感じた思いが語られました。報告を受けた医学生たちからも被災地の様子について活発に質問が出されるなど、盛況な報告会となりました。



マップに測定地をまとめよう!

おいそ〜

学習のあとは、青空のもとバーベキューで交流会!!



What's

春合宿

大阪民医連では、医学生が中心となり、毎年春夏2回の合宿を開催しています。フィールドワークなど、普段出来ないような体験ができるのが合宿の魅力です。昨年は、東日本大震災の被災地（岩手県大船渡市）を訪れました。

仮設住宅訪問ボランティアに参加



仮設住宅のレクリエーションの風景

末崎町を訪ねました



津波で流されたガレキ…更地が広がるばかりの住宅地



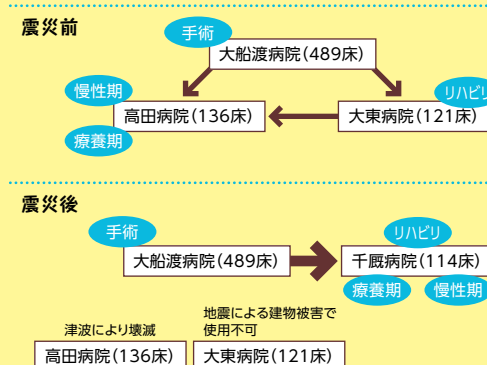
社会福祉協議会でボランティア作業のお手伝い

現地の方々との交流も合宿の魅力!!

「自分たちに出来ること」をテーマに、『はつらつお茶っこ会』『仮設住宅見回り』（社会福祉協議会）に、それぞれ訪問先ごとに分かれてのボランティアに参加しました。

大豆沢仮設コース（大船渡市末崎町）でのお茶っこ会では、1軒1軒お宅を回って、参加をお誘いするところから始まり、仮設住宅の集会所で折り紙などのレクリエーションや、生活相談や話し相手をするなどの活動を行いました。後ノ入仮設コース（大船渡市赤崎町）では、30人以上の入居者の方々が集会所に集まれ、参加医学生が生活支援員の方と共に血圧測定をしながら対話し、最近の近況や困っていることなどを聞きました。不眠と高血圧に悩む80代の女性は「人に言えない悩みや不安はいっぱいある。ここではみんなそんなのを抱えて生きている」と、胸の内を明かしてくれました。仮設住宅見回りコースでは、現地の生活支援員の方から「ぜひ訪問をお願いしたい」と、アルコール依存症の患者さんを探ね、相談に乗るなど、様々な経験をしました。

〈気仙沼医療圏周辺の包括モデル〉



合宿を通して学んだことは ～参加者の感想から～

- K大学1回生／被災地を自分の目で見て、家や、店が流されたり、抛り所とするものが全部なくなってしまうのはどんな気持ちだったのか…何も言えない。
- T大学4回生／自分は果たして知らない土地で役に立つのか…。普通の医師が行って役に立つのか…。自分には無理かな…と思った。
- K大学3回生／陸前高田を見て格差を感じた。復興するのに何十年単位かかると思う。自分が何を出来るのか正直わからないが、経験できた事を大阪に戻って、知識を詰め込んで、こういう事があったと、将来思える医者になれたらいいと思う。

などの感想が出されるなど、震災の被害を肌で感じ、そこに住む人たちと触れ合った経験が、『自分にできることは何か』という大きな問いを投げかけ、それぞれが多くを学んだ合宿となりました。

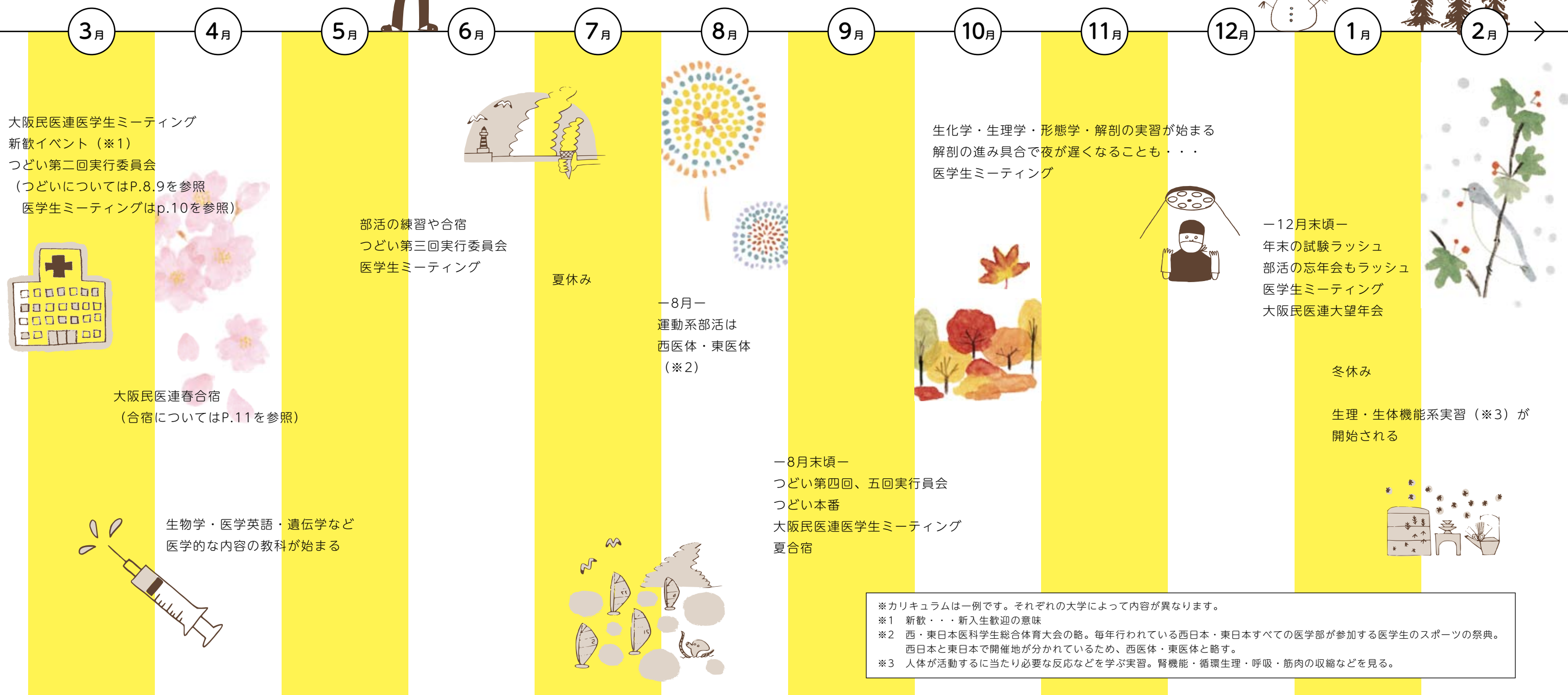
とある 奨学生の一年間

Aくんの場合
〈国公立大医学部2年生〉

奨学生の一年間って どんな感じ？

医学生はテストに勉強にアルバイト、
更に部活に入っている人は
部活の練習に追われるなどとても忙しいです。

大阪民医連の奨学生にはイキイキと
頑張っている医学生がたくさんいます。
奨学生になるとどんな一年間を過ごすのか、
少しだけ見ていきたいと思います。



※カリキュラムは一例です。それぞれの大学によって内容が異なります。
※1 新歓・・・新入生歓迎の意味
※2 西・東日本医科学学生総合体育大会の略。毎年行われている西日本・東日本すべての医学部が参加する医学生のスポーツの祭典。
西日本と東日本で開催地が分かれているため、西医体・東医体と略す。
※3 人体が活動するに当たり必要な反応などを学ぶ実習。腎機能・循環生理・呼吸・筋肉の収縮などを見る。

民医連とは？

いつでも、どこでも、
誰もが安心して良い医療と福祉を

戦後、医療に恵まれない人びとの要求に応えようと、地域住民と医療従事者が手をたずさえ、民主的な医療機関が各地につくられました。全日本民主医療機関連合会（全日本民医連）は、これらの連合会として1953年に結成されました。

以後、半世紀以上にわたって地域の人々にささえられ、身近な医療機関として活動しています。医療制度を改善する運動もすすめ、「いのちは平等である」との考えから、差額ベッド料はいただいていません。また、

地域の要求から介護・福祉分野の活動も活発に行っています。

現在、民医連に加盟する事業所は、全国の47都道府県に1700カ所を超え、約6万2千人の職員と、医療生活協同組合員や友の会会員約318万人の方々が、ともに保健・医療・福祉の総合的な活動、安心して住み続けられるまちづくり運動を進めています。大阪民医連は1953年に創立し、現在132カ所以上の事業所が加盟しています。病める人びとや地域住民の方々と手をたずさえて歩みを続けてきました。



病院のご紹介

大阪民医連 実習案内

耳原総合病院 386床

「様々な視点で実習を!!」

標榜科目

内科、循環器内科、消化器科、呼吸器科、小児科、外科、胸部心臓血管外科、整形外科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科、皮膚科、精神科、泌尿器科、神経内科、脳神経外科、麻酔科、放射線科、肛門外科、リハビリテーション科

一般386床



〒590-8505 堺市堺区協和町4丁465 (南海高野線堺東駅よりバス)
TEL.072-241-0501 (代)
URL: <http://www.mimihara.or.jp/sogo/> E-mail: igakusei@mimihara.or.jp
●ブログ更新中! <http://blogs.yahoo.co.jp/kensyuuiroom/>

西淀病院 218床

「地域医療を実感!!」

標榜科目

内科(呼吸器、循環器、消化器、神経、糖尿病)、外科、整形外科、小児科、婦人科、泌尿器科、リハビリテーション科、放射線科、血液浄化室(人工透析)

一般110床・亜急性期54床・リハビリテーション54床



〒555-0024 大阪市西淀川区野里3-5-22 (JR東西線御幣島駅徒歩5分)
TEL.06-6472-1141 (代)
URL: <http://www.yodokyo.or.jp/nishiyodo/index.html> E-mail: igakusei@yodokyo.or.jp
●ブログ更新中! <http://nishiyodo.blog54.fc2.com/>

病院見学のポイント

- どのような医療の分野を担っているか
- 研修医を指導できる体制になっているか
- 研修医がしんどい中でも楽しく研修できているか
- チーム医療ができているか
- 研修医の保障(休暇など)
- 指導医の熱意、レクチャー、カンファレンス
- 学会への参加、研究(臨床研究も含む)

コープおおさか病院 166床

「チーム医療を体験!!」

標榜科目

診療科目: 内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、心療内科、外科、肛門科、整形外科、泌尿器科、皮膚科、小児科、眼科、リハビリ科、放射線科、歯科、小児歯科、矯正歯科

一般108床・亜急性期8床・リハビリテーション50床



〒538-0053 大阪市鶴見区鶴見3-6-22 (地下鉄長堀鶴見緑地線今福鶴見駅徒歩4分)
TEL.06-6914-1100 (代)
URL: <http://www.osh.coop/>
E-mail: igakusei@health-coop.jp

東大阪生協病院 99床

「病院から在宅へお手伝い!!」

標榜科目

診療科目: 内科、循環器科、消化器科、呼吸器科、外科、整形外科、肛門科、小児科、眼科、リハビリテーション科、神経内科、皮膚科、泌尿器科、放射線科

一般52床・リハビリテーション47床



〒577-0832 東大阪市長瀬町1-7-7 (近鉄大阪線長瀬駅徒歩3分)
TEL.06-6727-3131 (代)
URL: <http://www.iseikyokawachino.jp/higasiosaka/>
E-mail: igakutai@rainbow.or.jp

民医連 Data	病院数	診療所数	訪問看護ステーション数	介護老人保健施設数	職員数	1日平均入院患者数	許可病床数	1日平均外来患者数
	民医連 154	民医連 524	民医連 377	民医連 40	民医連 62,287	民医連 24,915	民医連 26,931	民医連 86,942
	日赤 92	日赤 2	日赤 50	日赤 6	日赤 54,840	日赤 32,815	日赤 39,308	日赤 80,688
	厚生連 122	厚生連 58	厚生連 110	厚生連 24	厚生連 45,284	厚生連 32,568	厚生連 37,609	厚生連 83,482
	済生会 79	済生会 10	済生会 44	済生会 25	済生会 39,900	済生会 19,440	済生会 22,563	済生会 42,156

民医連: 各事業所数は2006年3月、病床・患者数は2006年3月、職員数は2005年10月現在。
日赤: 各事業所数は2006年3月、病床・患者数は2006年3月、職員数は2005年4月現在。
厚生連・済生会: 2006年3月現在。 ※診療所数は歯科診療所を含まない。